

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月19 日

事業所名 こどもの城ミュージー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・遊具の場所や活動をする場所、静養室が分かれていて、気持ちの切り替えに適している環境だと思ふ。 ・法令に遵守したスペースを確保しています。今後も様々な工夫をしながら維持します。	・法令に遵守したスペースを確保しています。今後も様々な工夫をしながら維持します。
	2	職員の配置数は適切である	7		・多くの職員を配置し、戸外に出る際に対一 一で対応出来たり、利用者一人一人と密に関わる時間を持っています。	・現在、法令の基準を大幅に超えた職員数を配置しております。その強みを活かした支援を工夫していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・空間を遊具や柵で仕切りを作って、目的が分かりやすくなるようにしています。 ・静養室と活動場所が分かれている。	・可能な限りバリアフリー化に努めていきます。限られたスペースの中で、より良い構造化が進められるよう検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・毎日、支援終了時に掃除を行っています。また、最後に次亜塩素酸水を噴霧して清潔を保っています。	・今後も、清潔で心地よく過ごせる環境の維持に努めます。また、利用者が来所する前に危険な事がないか点検していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		・毎朝、前日のサービス提供についての振り返りを行っています。また、週一、二回程度ミーティングを行い情報共有をし業務改善に繋がっています。	・日課活動や、現場支援に際しての振り返りなど職員間の話し合いの機会を設けて、共通理解を深め業務改善に取り組んでいます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・保護者からの評価表回収後、職員間で結果を共有し改善を図っています。 ・日頃からご家族の意向に気を配り、対応と情報の共有に努めている。	・評価表の結果を受け、職員間でのミーティングの機会を設け保護者様の意向を共有し業務改善に取り組んでいます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・ミーティング等で職員間で情報を共有し、ホームページにて公開しています。	・保護者様向け評価表、事業所向け評価表の結果を踏まえ、自己評価表を作成しホームページに公開します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		・講師や保護者の話を参考にしています。	・今年度の事業所自己評価、保護者様からの評価による改善を実施しながら、第三者による外部評価が必要か検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・定期的な職員交代で様々な研修を受けています。	・今後も、外部研修に職員を派遣し、内部研修にも活かせるように努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		・定期的に行われています。また、支援計画が変わると報告があります。	・利用者様と保護者様のニーズや課題を職員間で情報共有し、それを基に適切にアセスメントし児童発達支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		・新規の児童は、保護者からの情報を職員間で共有して支援に取り組んでいる。	・アセスメントツールを通して、客観的に利用者様の状況を把握します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		・個別支援計画書を毎日目を通して確認しています。 ・保護者との話し合いの中で、児童に合った支援内容になっていると思ふいます。	・事業所全体で児童発達支援ガイドラインについて読み合わせ等を行い、理解を深めていけるように努めます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・その児童の支援計画に沿った支援を心がけています。	・利用者様個々の支援内容が意識出来るように実施記録を活用します。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・皆で意見を出し合い、考え、日課活動作成をしています。	・様々な日課を通して療育ができるよう職員全員で検討し、利用者様の意見も取り入れながら立案を行います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・職員間で意見を出し、季節の行事を入れたり、イベントに出かけたり等、様々な日課を取り入れています。	・利用者様の特性をベースに、主体的に楽しく取り組めるような日課の開発に努めます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		・モニタリング等で出た事案を反映しています。	・利用者様の状態に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせさせていただきます。(コロナ感染防止のため、現在は集団活動は行っていません。)
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・朝の会時等に、その日のリーダーが中心になり話し合い一日の流れを確認しています。	・その日のタイムキーパーの職員が、朝の会にて一日の活動の流れや日課の進め方などを周知して確認をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・翌日、前日の振り返りを毎日行い、気づいた事や対応等について情報を共有している。	・当日の支援終了後は、職員の勤務体制や送迎の兼ね合いもあり振り返りの時間を設ける事が困難なので、翌日の朝の会やミーティングの際に振り返り、情報の共有をすよう努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・個別支援計画書や、業務日誌、職員間の申し送りノート等を通して情報を共有しています。	・日々の支援記録を基に支援の検証を継続します。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		・モニタリングに参加した職員が、ミーティングで職員に周知している。	・モニタリングを通して支援の達成度、ニーズの把握に努めます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		・児発言や、現場のリーダー等が参加し情報を共有している。	・担当者会議に出席し、情報の共有が図れるよう体制を維持します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		・環境が変わり、こども園で不安定になった時など、家族、子ども園、グループアップで情報を共有し対応していた。	・可能な限り関係機関の研修会などに参加する機会を設けます。また、必要に応じて連携が図れる体制を維持します。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・保育所、こども園、学校等その都度話を聞いています。 ・特別支援学校が開く、事業所との支援連携会議に参加しています。	・随時、情報共有や相互理解が図れるよう、連絡会や担当者会議に参加できる体制を維持します。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・保育所、こども園、学校等その都度話を聞いています。 ・特別支援学校が開く、事業所との支援連携会議に参加しています。	・今後も外部研修に参加し、研修で学んだ事を周知して支援に活かし、職員全体の専門性を高められるよう努めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		・研修の場で意見交換をしている。 ・併用している児に関しては、担当者会議等連携を図れていると思う。研修の案内をいただいた事もある。	・戸外活動を多く取り入れたり、地域の児童館や公園等を積極的に活用する。また、子ども園や保育所等と、どのような交流を図れるのか検討していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7		・保育所等施設との交流自体はないが、戸外活動で利用客等の子どもとの関わる機会があるので良いと思う。	・研修やイベントがある際は、随時参加できる体制を維持します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		・豊見城市のかさぐるまの会に参加している。	・連絡帳や送迎の際の申し送り等を通して、利用者様の様子を伝えたり、情報を共有、交換する体制を維持します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・毎日の連絡帳、送迎時の際に情報を共有しています。また、担当者会議の際にもコミュニケーションを図っています。	・職員によるペアトレ研修への参加、職員への周知を行い学びを深めます。また、保護者様に対して研修、講習の機会があれば随時お伝えしていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7		・保護者から相談を受けた際には、誠意をもって答えている。	・職員によるペアトレ研修への参加、職員への周知を行い学びを深めます。また、保護者様に対して研修、講習の機会があれば随時お伝えしていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・契約時に、読み合わせ等を行い説明をしています。	・契約の際には、保護者様に分かりやすく丁寧に説明するよう継続します。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		・モニタリング、担当者会議等で保護者のニーズも取り入れて計画書を作成しています。	・保護者様に対して、児童発達支援ガイドラインの資料配布を検討する。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・保護者からの悩み等を聞いて、職員も一緒に考えながら利用者とは接している。	・保護者様からの相談については、職員全体で話し合いながら迅速かつ適切に対応できるよう努めます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		・各世帯の個人情報に配慮し、現在は行っていません	・緊急事態宣言中では行えず、その後のレベルに合わせて月1回(第3金曜日)開催しています。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・連絡帳にて返事を返したり、こちらから連絡をして対応しています。	・迅速に対応できる申し入れについては現在の体制を維持し、職員全体で検討が必要な相談については、その旨を伝え適切に対応します。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・毎月、日課表を作成して配布しています。また、フェイスブックページにて活動風景を発信しています。	・現在フェイスブックページにて発信しているが、活動風景は今後更新頻度をあげるよう努めます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7		・外部に情報等が漏れることのないようプライバシーに配慮しています。	・内部研修を行い、適切な個人情報の取り扱いについて理解を深めます。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		・絵カード等を使用してコミュニケーションを図る等工夫をしています。	・写真や絵カード、マカトンサイン、文字盤などの使用を継続し、意思疎通を図っていきます。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		・行事は行ってないが、地域住民(登下校の中の学生等)に挨拶する等、心がけている。	・現在行っている事を継続しながら、今後も地域に根差した運営方法について検討します。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		・定期的に避難訓練を行ったり、危機管理マニュアルを設置して職員の意識付けをしています。・保護者には契約時に伝えています
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		7			
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		7		・服薬やアレルギー等は、ルーム内に見える所に貼り意識付けしています。	・契約の際に保護者様からヒアリングを行い、アレルギーのある子は定期的に把握、確認を行う。また、今後医師指示書が必要になるのか検討をします。
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		7			
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		7		・ヒヤリハットを感じた職員がスムーズに作成し、情報共有、連携を行っています。	・ヒヤリハット事例集を活用し、迅速に対応し安全に支援が提供できるよう努めます。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		7		・適宜、虐待防止の研修に参加しています。	・内部研修を継続する。職員の学びや理解を深めていけるよう対応する。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		7		・保護者に配布し、同意を受けてサインをもらっている。	・身体拘束について事業所全体で理解を深め対応します。また、必要であれば保護者様に了解を得た上で児童発達支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。